



くさしぎ便り No.17

市民のプラットホームだより

くさしぎ・草の根市議と市政を考える会 2018年10月発行 e-mail kusasigi@nifty.com
ホームページは「辻よし子と歩む会」で検索してください。

スマホ(スマートフォン)は、メールのやり取りや道の探索、調べものができるだけでなく、音楽やゲーム、動画を楽しんだり、買物もできます。スマホを活用したビジネスが取りざたされてもいます。反面、依存症や電磁波、出会い系トラブルなどの心配もあり、付き合い方には悩むところ。あなたはどのようにしていますか？

第4回 市民のプラットホーム 2018年8月10日(金)13:30~15:30 ルピア会議室



電磁波は？

スマホとどうつきあいますか？

依存症は？

出会い系？



スマホとの付き合い方 私の場合 その1



<Tさん・男性>

子どもは、ずっとスマホを見ている

私自身は、ガラケーのケータイを使いはじめたのが4年前というアナログ人間です。電話の時にテレホンカードを使っていたのですが、すぐなくなるようになり、思い切って、安くなっていたケータイを始めることにしました。スマホに変えたのは2年前です。ケータイもスマホもあまり好きではありません。<スマホ中毒>になることを怖れていますし、ゲームにも関心がありません。

一方、パソコンはミニコミ誌をつくっていることもあって、結構早く20年ほど前から使っています。だから僕は、メールのやり取りもスマホではなくパソコンが主です。机に向かって考えながらキーボードを打つ作業は、スマホの小さな画面を操作するのとは違い、ワンクッション置く感じで、客観的になれる気がしています。

FB(フェイスブック)もパソコンを使って上げています。FBは自分の意見に対する反応を見ることができて面白いです。つまり私の場合、パソコンが主な情報機器で、スマホにはあまり依存していないしコントロールできていると思います。ところが子どもはどうかというとスマホの使い方については、親として思い悩む日々です。

子どもは息子が二人です。我が家では、ゲーム

も上の子は中3まで、下の子も小6までさせないで育てました。上の息子にスマホを持たせたのは高校入学時で、「100%の子がスマホを持っている」と言ってきたためです。現在、彼は常にスマホ画面を見つめているような状況です。ライン、ユーチューブ、ゲーム…。「体験を大切に」と思って育てたつもりですが。

先日、その息子がスマホでエベレスト登頂をバーチャル体験できるソフトがあるというので試したのですが、そのリアルさに驚きました。

スマホを全否定できない時代になっていますが、道具の方が人間を引っ張っているようで、人間関係が希薄にならないかと気になりますね。



スマホとの付き合い方 私の場合 その2

<Iさん・女性>

スマホではなく、「スマホ社会」とどう付き合うか

ケータイを持ったことがありません。連れ合いは公衆電話が街から消えたために、数年前からガラケーを持つようになりました。

私が情報を得るのは、新聞やチラシ、また集会に参加することでも得ています。自分たちの能力というかキャパシティからいっても、それぐらいがちょうどいいと思っています。

ケータイは、1日中持っていないてはならない煩わしさがあります。孫とのやりとりは電話とFAXで十分ですし、持たない自由もあると思います。

不便だと感じるのは、ひとつは公衆電話がなくなったこと、もうひとつはデジタル通信が社会的インフラとなり「HPをご覧ください」とか

「申し込みはHPより」など、デジタル社会を前提として物事が組み立てられることが増えたことです。たとえばICAN（核兵器廃絶キャンペーン）のチラシにも「スマホで意思表示をしてください」と書いてあって、スマホを持たない人間は意思表示をしたくてもできないなあと悔しい思いをしました。

3歳、4歳の孫たちがスマホに興味があって見たがることにも危機感を覚えます。私にとってはスマホとどう付き合うかではなく、スマホ社会とどう付き合うのかが目下の課題。もっとデジタル化したらどうなるのか想像もできません。

みんなで話そうコーナー



<Aさん・Tさんの連れ合い>子どもにケイタイを持たせて良かったか今も葛藤がある

最初のTの発言に補足します。子どもにゲーム機を与えないで育ててきたのは、私たちの中に作家の早乙女勝元さんのお連れ合いの「親は覚悟をもって子育てを」との発言に共鳴したところがあって、中学までは親の価値観でと思ったからです。それが限界にきたのが、高校生になった時でした。ズルッと許してしまって、これで良かったのか、今も葛藤があります。

<Bさん>「HPを見て」という呼びかけと「冷房を使いましょう」という呼びかけ

さきほど、ケータイを前提の社会になっているというお話がありました。同感です。それに加えて、最近の猛暑続きに、市役所の無線放送やテレビが連日「適切に冷房を使うようにしましょう」と注意を促していますが、そもそもクーラーのない家はどうするのでしょうか、誰もがクーラーを購入できるわけではありません。同じ問題だと思いました。

スマホの電磁波、気にしていますか？

＜Cさん＞電磁波に敏感だと…

子どもたちは自然の中で育ててほしいと思って、子育てしてきました。けれど、現代の子どもたちは、スマホで世の中につながっているのです。私はとても電磁波に過敏なので、「お母さんはWi-Fiがあると大変だから、いっしょに住めないね」と言われてしまいました。

電磁波のことを考えると、赤ちゃんには持たせたくないです。過金システムや出会い系サイトの危険もあるし、ライン（LINE）からこぼれ落ちてくる子もいっぱいいますね。

＜Dさん＞幼児の生活空間でのスマホ使用を規制する国もある。

電磁波について少し話をさせてください。僕は現在36歳ですが、16歳の時からケータイを持っていて、暇さえあればケータイで電話をしていました。今思うとほとんど依存症でした。ところが2010年頃、ケータイで電話をするとひどい頭痛に襲われるようになりました。科学的根拠がないとか気のせいだとか言われたのですが、

毎日がきつくて山に避難した時に、40代になって発症したドイツ女性がいるという話を聞き、電磁波に過敏な人間がいるのは事実だと確信しました。こんな風にならなかつたら、バリバリでケータイを使っていたと思います。

電磁波過敏症は、化学物質過敏症を併発しやすいと言われていています。小さな子どもが生活する場に電磁波が飛び交うのは大問題で、アメリカ、イギリス、フランス等多くの国で規制があります。人体にどの程度の影響があるかを測定したSAR値（下コラム参照）が参考になります。

＜Eさん＞デジタル化進む学校

中学で教師をしています。子どものデジタル環境ということ言えば、今の学校はコンピューター化することに対しては予算がつくことが多く、様々な機器が入ってきています。

○関連発言：保育士の負担軽減ということで、突然死を防ぐセンサー導入の話を聞きました。

＜Fさん＞子どもが1歳の時にケータイを解約

私は子どもが1歳の時、ケータイを止めまし

SAR (Specific Absorption Rate) とは、単位質量の組織に単位時間に吸収されるエネルギー量のこと。人体がある電波を発する機器から、一定時間にどのくらいのエネルギーを受けたのかがわかります。平成9年に人体に許容される電磁波の基準として「全身平均 SAR」と「局所 SAR」のふたつの基準値が定められました。単位は W/kg でキログラム(kg)あたり何ワット(W)の熱エネルギーを吸収するかという単位であらわします。値が大きいほど人体への影響が大きいということになります。携帯電話等、人体頭部のそばで使用する無線機器から送られる電磁波については局所 SAR を用います。



◆ 局所 SAR の許容基準 ◆

平成9年の電波防護指針に基づき、電波産業会は平成11年に局所 SAR に関する民間規格を定めました。平成14年6月からは総務省令(無線設備規則)によって、人体側頭部のそばで使用する携帯電話端末等に対して、電波防護指針に基づく局所 SAR の許容値(2W/kg)を満たすことが義務づけられました。電波産業会では、この許容値は、世界保健機関(WHO)や国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が策定した国際的なガイドラインと同等の値でこの値を超えたとしても人体に影響を及ぼすものではないとしています。(サイト「携帯電磁波レポート」より)

た。それまでは依存症と思えるほど使っていました。私の親が近くにいないために、身近に頼りになる人がおらず、子育てで分からないことが出てくると、スマホを出して調べたり、また思うようにいかずイライラする時も、子育て中の人たちの情報交流サイトで、同じような悩みを持っているお母さんを発見して、私だけではないと安堵したり、スマホは手放せませんでした。

でもその端末が7万円と高価なこと、通信料も1ヵ月8千円ほど払っていることが分かり、自分には不要だと解約しました。

待ち合わせの時どうするのかと時々聞かれます。確かに駅の伝言板がなくなって、不便に思うこともあります。待つという時間も大事なのではと思っています。

<Gさん>情報弱者が出てきた

大学生の時、パソコンはこわれやすい機器であると講義で聞き、憑き物が落ちたように感じました。記録媒体としては、再生機器が必要なデータ保存は不安があると思います。公文書などは紙で残しておくべきだと思います。スマホは使ったことがなく、電磁波のこともこれまで考えてきませんでした。

ケータイの使い方が複雑になって、使いこなせず情報弱者となる人が出てきていることも問題です。また、デジタル機器の字が画一であるのは嫌です。手紙は書体で人柄まで伝わります。

<Hさん>スマホいいことばかりではない

今日の資料を見ても分かるように、スマホはいいことばかりではありません。それにスマホに代表される効率優先の考え方自体、人間性を損なうと思います。スマホは、子どもの柔らかな脳に入り込み、依存症で苦しむ結果をもたらす場合もあります。

第5回 プラットホームのお知らせ 「魅力的な地域づくりって？」

町内会・自治会、それとも・・・

日時:11月5日(月)午後2時～
場所:あきる野ルピア 産業情報室

地域社会は大事とは言うけれど、町内会に入る人は減ってきているし、その支え手は高齢化してきています。さて、魅力的な地域づくりはどうしたらいい？市役所の方からお話を伺って考えてみませんか？

<Iさん>一人暮らしでスマホをはじめ

事情があって一人暮らしを始めた時、電話を引くのではなく、スマホとタブレットで代用する生活に切り換えました。趣味用にパソコンを使っていたのですが、今はそれらで済んでいます。使うのは電話、メール、写真が主です。

また、僕の経験では、子育て時に親がいっしょに遊ぶ、工作をするなど時間をともにすることで、子どももアナログ人間に育つと思います。

<Jさん>スマホと上手につきあっていきたい

今日のみなさんの発言を聞いて、スマホの持っている負の側面、とりわけ電磁波の危険性についてとても勉強になりました。

私自身は、「ほど良い距離で」と自分では思っていますが、スマホを使っています。なくてもいいけど、持っている楽しいし便利。前に「保育園落ちた、日本死ね」という子育て中のお母さんのネットへの発信が、大きなうねりになったことがありました。スマホはこれまで発信ツールがなかった人の有力な武器にもなると思います。幼いお子さんの近くではもちろん規制が必要ですが、うまく付き合っていけたらいいです。(了)